



講演会 「松くい虫って何だろう？」 ～変わりゆく庄内海岸林～

私たちの暮らしを守ってきた庄内海岸林は「マツ枯れ」、いわゆる「松くい虫被害」が拡大して過去最大の危機を迎えています。先人が造り上げてきた大いなる遺産・庄内海岸林を未来につなぐためにはどうすればいいのでしょうか。

松くい虫とは何なのか、マツ枯れはなぜ起きるのか、その仕組みと対策をわかりやすく学ぶ勉強会を、昨年引き続き、吹浦在住の梅津勘一さんを講師に迎えて開催します。市民の皆様、興味や関心のある方、お気軽に参加してください。

日 時 令和7年3月16日(日) 午後1時30分～4時

会 場 鳥海温泉「遊楽里」 1F 文化ホール

住所：遊佐町吹浦字西浜 2-76 電話：0234-77-3711

講 師 梅津勘一 (樹木医、松保護士)

対 象 興味関心のある方はどなたでも参加できます

参加費 無料

主 催 遊佐町共存の森運営協議会

問合せ先 遊佐町共存の森運営協議会事務局(遊佐町産業課水産林業係)

電話 72-4521、FAX 72-5896

【プロフィール】

梅津勘一(うめつかんいち) 1957年生まれ、遊佐町吹浦字小野曾在住。酒田東高、宇都宮大学農学部林学科卒業後、1980年山形県職員(林業職)となる。在職中は、主に治山・林道事業、海岸林造成や飛島での森林整備、森林病虫害対策等に取り組む。また、マツ枯れや海岸林についての普及啓発、森林環境教育の支援、住民参加の森づくり運動の展開に取り組んできた。県を定年退職後、北庄内森林組合に勤務し、海岸林のマツ枯れ対策に携わる。森林組合退職後、2022年3月、樹木医事務所「明翠舎」を立上げ、個人事業主として、庭園や林地の管理、各種調査業務などを行っている。

資格等 : 樹木医・松保護士・1級造園施工管理技士・庄内海岸のクロマツ林をたてる会会長
生涯学習施設「里仁館」講師、東北農林専門職大学付属農林大学校講師等